

COVID-19とダウン症の調査報告

トリソミー21学会, 2020/10/22



新しいこと WHAT IS NEW?

これまで、私達はCOVID-19に罹患したダウン症の人についてのみを研究してきました。
(これまでの解説画像を御覧ください。)

今回、ダウン症を持たない対照グループをえることができ、COVID-19の経過の違いを研究することができるようになりました。

データーソース

T21RS SURVEY OF PEOPLE WITH DOWN SYNDROME AND COVID-19



801人の感染症例が報告され、422人が入院
801人中60%が回復し、14%が亡くなった。

UK ISARIC4 C SURVEY OF PEOPLE HOSPITALIZED FOR COVID-19



58,916名の非ダウン症者から無作為抽出した400例
422例のT21REのダウン症者の症例から、年齢、性別
人種をそろえて選んだ100例のダウン症者を比較。

伝えて欲しいメッセージ TAKE HOME MESSAGES

入院された患者さん：

- 発熱、咳、息切れに加えて、意識の変化や混乱が現れる症状です。
- 肺の合併症は高率に起こります。
- ダウン症ではない成人の60歳以降と比較して、40歳以降の死亡リスクは大幅に高まります。

小児の患者さん：

- COVID-19に感染した800例の研究では小児の死亡例は殆どなかった。
- ダウン症の有無に関わらず、このウイルスは子どもで重症化を起こし難い。

高リスクファクター：

- COVID-19が重症化するリスクファクターは同じ年齢の一般の人と同様。
- 新たな対照群を加えての解析はこれまでの所見と変わりがない。

(これまでの解説画像を御覧ください。<http://www.t21rs.org/results-from-covid-19-and-down-syndrome-survey/>)

報告されている*入院患者さんにおけるCOVID-19の合併症

ダウン症の有無に関わらず、
最も高頻度に報告された症状



発熱

発咳

息切れ

ダウン症の患者に
より多く報告された症状



意識の変化や混乱（錯乱）

ダウン症の患者にあまり頻繁に
報告されていない症状



関節痛や筋肉痛



嘔吐/ 吐き気

*注意：痛みや吐き気などいくつかの症状は自己申告が必要なため、より認識しがたいことがあるかもしれない。

入院患者におけるCOVID-19による医学的合併症

ダウン症の患者により高頻度に見られる合併症



ウイルスや細菌性肺炎、
急性呼吸器症候群を
含む肺の合併症

ダウン症ではない人と同じ頻度で起こる合併症



心臓の合併症

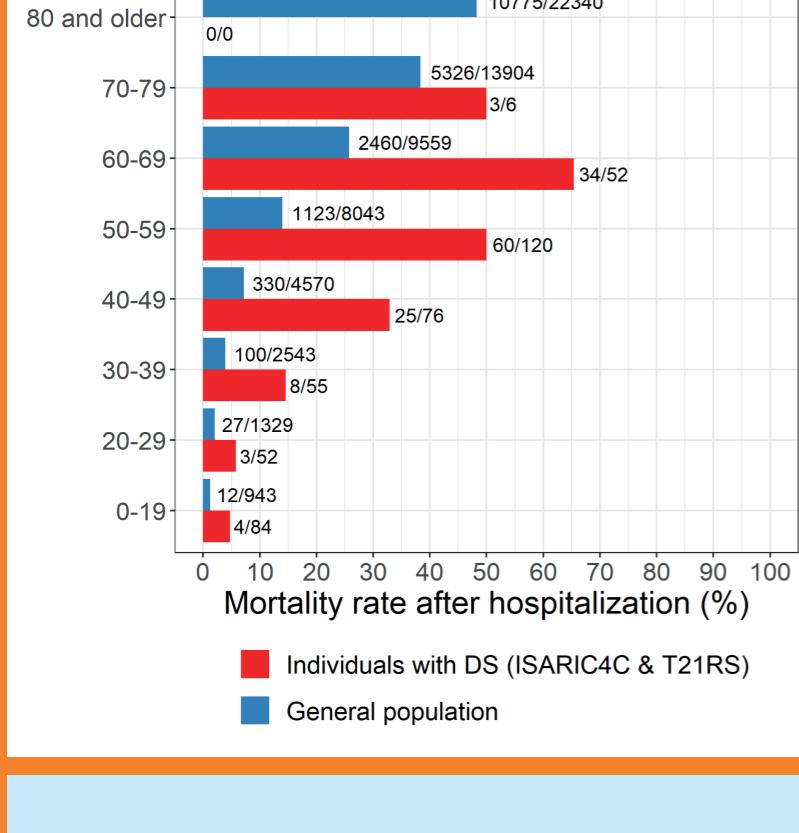


腎臓疾患



貧血

ダウン症の入院患者の死亡リスクは40歳に近づくほど高まる



例えば、40歳、それ以上のダウン症の
患者はダウン症ではない80歳かそれ以上
の年齢の患者と同等のリスクがある。
(左のグラフを参照)



年齢、性別、民族性を一致させたイギリス
の対照群と比較したダウン症の入院患者に
おける死亡率の比較

	ダウン症者		非ダウン症者
	T21RS の調査	英国 の調査	英國 の調査
40歳 未満	6%	12%	3%
40歳 以上	43%	49%	17%

COVID-19の感染で亡くなったダウン症の子どもは同年代のダウン症でない子どもたちと同様に少数。
子どもの感染が重症化するリスクファクターを明らかにするためにさらなるデータが必要。

研究の限界 STUDY LIMITATIONS

- 現在のダウン症の人の平均余命は60歳されている。一般の人のCOVID-19に関する死亡は80歳以上の人々に起っている。このことはダウン症の人とそうでない人におけるCOVID-19関連死の全体的なリスクを比較することを難しくしている。
- 小児期と成人期の重症化リスクを明らかにするためにはさらなるデータが必要である。我々は今回のデータを高齢の成人に適用できない。
- ダウン症を持っているかないかで、重症化率や入院の理由の差異に影響する他の要因があるかもしれない。
- 研究にはCOVID-19に感染した患者のみが含まれるため、感染のリスクについては答えられない。
- T21RSのデータは様々な国や様々な医療制度から得られたもので、ダウン症を持つ人のCOVID-19症例を代表すると思われる。